

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのびろ 【放課後等ディサービス】		
○保護者評価実施期間	2026年1月1日		～ 2026年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年1月1日		～ 2026年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2024年4月に開設したところであり、設備や生活空間が整っている。	その設備や備品、より有効に活用するための勉強会を定期的に行っている。また利用者にとって役立つのかについての研修を職員間の個別支援会議で共有している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
2	職員に公認心理師、看護師、保育士、理学療法士など国家資格取得者を多く採用している。	療育および支援技法、虐待防止、権利擁護さまざまな観点からの研修に積極的に参加している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2024年4月に開設したところであり、移行支援（進学や就労）に向けての取り組みの経験がない。学校関係者や児童館、就労施設とのつながりに欠ける。	開設から2年が経過したところで、利用者（子ども）の進級、進学、就労を支えるための経験がな少ない。	1年1年、放デイを利用しておられる利用者（子ども）を通して、相談支援専門員さん、移行先の職員の皆様と会議や訪問を通して、蜜に連絡を取り合うことで経験を増やしていく。
2	2024年4月に開設したところであり、所在地の地域住民の方との結びつきに欠ける。	内覧会の案内等は自治会を通じて配布したものの実際に訪れた方はまだおらず、当センター側もそれ以上のアプローチをしていない。	今年度は福井市民生委員・児童委員会の地区担当さまと懇談し、地域交流や災害時対策について意見交換を行った。また近隣のコンビニや散歩に出かけた折の挨拶に心がけている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センターのびろ 【放課後等デイサービス】

公表日 2026年 3月 9日

利用児童数 21名 (2026年1月1日現在)

回収数 16名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			・人数が増えた為、活動スペースが十分か 疑問	・ご心配をおかけしています。十分に確 保しておりますのでご安心ください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	15				1	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	16					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	15					1
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	15					1
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	1	6	7	・ないと思うが、現時点であまり求めてい ません。	・お子さんにとって必要かつ有効と思わ れる活動を行ってまいります。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	15	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	15	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	12	1			3	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	15	1			・毎回の振返りはあるが、匿名での活動報 告の為、わが子がどうなのかわかりにくい	・個人情報の流布には十分注意しなが ら、お子さんの様子がご家族様に伝わる ように心がけます。ご指摘ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5		5	・放デイ活動終わりにその日の活動のようすを知らせてくれるので、その際に他の保護者さんとの交流ができ、とても良い時間になっています ・きょうだい支援・交流をお願いします	・お褒めの言葉をいただきありがとうございます。励みになります。 ・兄弟支援についてのご指摘ありがとうございます。今後、取り組んでいきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3		3	・SNSもあると目につきやすいのでうれし いなと思います。	・ご意見ありがとうございました。現時点では個人情報の保護に努めながらHPでの発信に努めております。ご理解をいただけると幸いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		4	・されていると思いますが、わが子が通う時間帯にはないので機会を作っていたきたいです。	・ご意見ありがとうございました。当センターでは年2回の避難訓練および感染対策訓練を行っています。すべてのプログラムでの実施はいたしかねますが、ご提案については検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		5	・されていると思いますが、わが子が通う時間帯にはないので機会を作っていたきたいです。	・ご意見ありがとうございました。当センターでは年2回の避難訓練および感染対策訓練を行っています。すべてのプログラムでの実施はいたしかねますが、ご提案については検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					・満点をいただきました。今後ともお子さんの心身とも安全安心を担保したうえで、楽しく通っていただけるような支援を提供してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16					・満点をいただきました。今後ともお子さんの心身とも安全安心を担保したうえで、楽しく通っていただけるような支援を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15			1		・ほとんどの方にご満足をいただきました。今後ともお子さんにとって有意義な支援を提供し、そのことをご家族様にもお伝えしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターのびる 【放課後等ディサービス】		公表日		2026年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	2025年4月に開設したところであり、設計段階から定員に見合った部屋数とスペースを確保してある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	0		量的な確保だけでなく質的な支援力量アップに向けての職員研修に取り組み、より安心および効果的な支援の提供に心がけている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	2025年4月に開設したところであり、ピクトグラムや掲示板、ホワイトボードなどの配置など、わかりやすい環境に仕上げてある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	設計段階から様々な工夫を凝らしてある。また空気清浄機も各所に配備した。	利用児が増え、支援直後の清掃や翌日のための環境整備が滞ることがたまにある。お互いの声かけなど職員全体で整える体制を構築していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個室から多目的室、大型研修室まで、こども一人一人に配慮した部屋の使用が可能である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	月2回、業務改善や個別支援のためのミーティングに充てて、全職員が意見を言い合える環境を整えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	本評価表の結果を職員会議で共有し、ひとつひとつの項目や保護者さまからの意見を基に業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	月2回、業務改善や個別支援のためのミーティングを行い、全職員が意見を言い合える環境を整えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	外部から研修講師を招き、療育支援プログラムに対して忌憚ない指導を受けることで、業務の質向上に努めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	10	0	そのように心がけている。複数担当制を敷いている。		
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	そのように心がけている。月2回の職員会議で、繰り返し「こどもの権利と最善の利益」について共有している。		
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		12・13のとおり	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	標準化されたアセスメントシート(各種発達検査・評価)の研修受講を推奨している。またその時々「行動を観る」を意識している。		
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	児童発達支援計画フォーマットの中に、5領域すべての項目を書き込み、常に何のための(目的とした)支援かを職員、お子さん、保護者さま全員で共有できるようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	すべてのプログラムは複数担当制にしており、チームで個別支援計画の作成および振り返りを行っている。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	そもそも固定化したほうが良い利用児もいるので、固定化しない工夫というご質問の意図が分からない。その子にあったプログラムの立案に心がけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	そのように心がけている。のびろでは、個別療育、目的別小集団、生活全般を整える保育、さまざまなプログラムを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1		一部職員から学校の対応窓口が不明確な場合があるとの印象を聞いている。特別支援コーディネータ教諭との連携を深める必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		今年度4月からの事業開始で、まだ日が浅いため、学校との連絡窓口が不明確な場合もあり、今後の検討課題である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3		福井市自立支援協議会こども部会でも地域課題としてあげている。それぞれの主管課と一緒に連携を模索しているところである。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	今年度からペアレントプログラム実施。8名の保護者さまにご参加いただき好評を得ている。	今後はペアプロ研修型の開催も検討している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	今年度は福井市民生委員・児童委員の地区担当さまと懇談し、地域交流や災害時対策について意見交換を行った。	施設遊具の開放や自治会子ども会との交流、災害時の施設開放など、今後取り組むべき課題と認識している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			